

仙台の今、未来への責任！

■発行／仙台市議会議員 野田ゆずる  
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022 (739) 9630

## 野田ゆずる議会レポート

## 令和3年第3回定例会報告

■ご意見・ご要望がありましたら  
お気軽にお寄せください。

今回の仙台市議会レポートは、令和3年第3回定例会の報告を致します。今定例会では、計17億7100万円を増額する補正予算など議案20件、意見書案4件を可決いたしました。

主な補正予算は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で大幅減収となった飲食店や関連事業者に支払う「時短要請等関連業者支援金」の再々支給額を増額する2億6200万円や、「ヤングケアラー」の実態調査費490万円なども計上いたしました。

また、県の4病院再編方針を巡り、市への積極的な情報提供を求める決議案も全会一致で可決いたしました。

今回のレポートは「会派 自由民主党」の代表質疑と答弁の要点の一部を掲載させていただきました。

是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

令和3年第3回定例会  
では…

- 飲食店や関連事業者に支払う「時短要請等関連業者支援金」の再々支給決定
- 「ヤングケアラー」の実態調査費用計上
- 4病院の再編に関する積極的な情報提供

## 令和3年第3回定例会 自由民主党代表質疑より (抜粋)

## 市長選挙結果について

**質問** 20万9千余りに及ぶ得票と、84.4%という過去最高の得票率を得て、圧倒的大差で当選され、引き続き市長に就任されたことにお祝いを申し上げます。

一方で、投票率が29.9%と過去最低、無効票は1万498票で、白票が約7千票にも上っている。過去最高の得票率を得た一方、過去最低の投票率を記録し、白票も多いというこの結果をどう受け止めているのか。

市長選を経て与野党の構成が変わった。以前は与党が半数以下であったが、現在は市長を応援した有志の会を含む圧倒的多数の議員が与党集団を形成し、議場の大部分を占めている。市長はこの議場の並びを眺めてどう感じているのか。

**答弁** コロナ禍という大変難しい状況ではあったが、様々な市民の方々、そして多くの議員の皆様から力強いご理解とご支援を賜り、改めて皆様からの負託の重みに身が引き締まる思いだ。

市政をめぐる課題が山積しており、二元代表制のもと、議会の皆様からはまさに車の両輪として、今まで以上に忌憚のない率直な意見と議論をいただきながら、新たな杜の都に向けたチャレンジを重ねていきたい。

**質問** 県と市の関係は、コロナ対策はもとより本市のまちづくり、さらには財政負担のあり方等にも大きく関わってくる。

知事選にあたり市長はどういうスタンスで臨むつもりか。また今後、県・市双方に関わる重要課題に対し、知事との連携、関係性をどう保っていく考えか。

**答弁** 時として、私と知事の間で意見が異なることもあるが、知事とは公式・非公式を問わず、率直に意見交換を行うことができる関係を築いており、今後とも県・市それぞれの状況に応じて適切に取り組み、市民福祉の向上につなげていきたい。

**質問** 将来にわたり持続的・魅力的な都市づくりを力強く進めていくためには、財源の充実を図り、国から十分な財政措置を引き出していくことに加え、必要な要望や提言を適時適切に効果的に行っていくことが、極めて重要であり、そのためには国政との強いパイプを確保することが必要だ。今後どんなやり方で取り込んでいく考えか。



**答弁** 市議会を始めとする多くの皆様方のお力も頂戴しつつ、地方の実情を国政に届けながら、これまで以上に国の持つ権限や財源の有効活用を図り、本市の将来に向けたまちづくりを進めていく考えだ。

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**質問** 市長は2期目に臨むにあたり、喫緊の課題は何よりも新型コロナウイルス感染症対策であるとして、市民の命と健康を守り地域経済の一刻も早い回復に向かうためにも感染拡大をなんとしても食い止めなければならない、という強い意志を表明された。このコロナ禍をどのようにして、いかに早く乗り越えようとしていく考えなのか。

**答弁** 地域経済の回復に向けた歩みを力強く踏み出していくためにも、働き盛りや若い世代のワクチン接種を加速しつつ、感染拡大の予兆をいち早く捉え、機動的に必要な対策を講じることで今後とも感染拡大の防止に努めていく。

# STOP! コロナ

### 2期目に重視する施策について

**質問** コロナ禍を経て見えてきた新たな課題もある。市民そして地域経済がコロナ禍での暮らしに疲弊し、不安を募らせている。まさに今こそ市民が未来に希望を抱くことができるそんな施策が強く望まれている。

2期目の公約に「笑顔咲く杜の都へ市民とともに」というテーマを掲げた。コロナ感染症対策は当然として、市長は市民の顔に笑顔を取り戻すため、いかなる施策を重視して進めていく考えか。

**答弁** 「まちづくりの主役は人である」という私の理念を盛り込み、困難を抱えている女性や若い世代の方々が安心して暮らし、活躍することができるよう、さらなる子育て応援等を推進していく。また選ばれる街・仙台の実現に向け、スーパーシティー構想や都心再構築、音楽ホール整備等の具現化やトップセールスによる企業誘致の取り組みを加速していく。

### スーパーシティー構想について

**質問** スーパーシティー構想はこれからの本市の都市力向上、競争力アップにつながるものと期待する。今後の見通しと進める狙い、意義、選定に向けた市長の意気込みを伺う。

**答弁** スーパーシティー構想は、学都の特性を最大限に活かしながら本市の新たなまちづくりの姿を発信し、仙台が内外から選ばれ都市となるため極めて重要な一手であると認識している。現在、本市も東北大学や事業者の皆様方と連携して準備を進めている。

様々なデータを連携・共有することにより最先端のサービス提供を目指すスーパーシティー構想の根幹事業で、選定に先立って取り組むことにより早期の実現につなげていきたい。

### ヤングケアラー実態調査について

**質問** ヤングケアラーは、本人の年齢に見合わない重い負担を負うもので、それが本人の育ちに悪い影響を与えることが課題とされている。小学5年、中学2年、高校2年を対象に調査を行うと伺っている。調査対象の考え方や調査手法、今後のスケジュールについて伺う。

**答弁** 調査票の配布は学校を通じて行い、児童生徒は無記名で回答したものを返信封筒で直接提出するという流れを考えている。合わせてパソコンやスマートホン等から回答できるネット環境の活用についても検討している。



### 財政運営及び行財政改革について

**質問** 今年度の予算現額は、すでに昨年度を上回る借入金を計上していることを考えると、新年度の予算編成や今後の財政運営の危うさは否めない。この決算の状況についての認識、総括を伺う。

**答弁** 予算編成における施策の重点化や国費等の積極的活用、地域経済の再生による市税収入の回復に加え、執行段階においても効果的な事業手法の工夫など様々な方策を講じ、財政運営の持続性を確保していく必要があると認識している。

**質問** 半年近く経過し税額の決定や申告納付も進んでいるが、今年度の市税収入についてどう見込んでいるのか。

**答弁** 令和3年度の市税収入は当初予算よ

り78億円増加の2,138億円と見込んでいる。しかし、令和2年度決算と比較すると約50億円の減収となり、新型コロナウイルス感染症の発生前の水準には至らず、引き続き厳しい状況が見込まれる。

**質問** 令和6年度までの3年間の収支差は約947億円前後と見込まれている。こうした中であっても、本庁舎の建て替えや音楽ホールといった大規模プロジェクトをはじめ、将来に向けた施策を着実に進めていくことが求められる。

地元企業が活力を取り戻し、収益をしっかり確保し市税収入の増加につなげていく地域経済の好循環が欠かせない。

今年度、次期仙台市役所経営プランを策定するが、持続可能な行財政運営に向けたプランの策定スケジュールや方向性について伺う。

**答弁** 徹底的な事務事業の見直しや業務プロセスの最適化などを通じ、未来への投資を続ける財源の捻出や、効率的な組織運営に取り組んでいく。年内には草案を取りまとめ議会に示し、パブリックコメントを実施し年度末までに策定していきたい。

### 時短要請について

**質問** 度重なる時短要請が続いてきた本市地域経済の現状をどう認識しているのか。また要請の対象となる飲食店には協力金が支給されるが時短要請の対象にならないが、影響の大きい関連事業者に対してはさらなる支援が必要だ、如何か。

**答弁** 緊急事態措置等による影響を踏まえると、さらなる支援が必要と考え、第三次となる関連事業者支援金事業を実施することとし、補正予算案の追加提案の準備を進めている。制度の周知や申請支援も行い、地域経済の再生を図っていきたい。

**質問** 時短要請や感染防止対策への協力に対し、誠実に協力し取り組んでいる事業者がいる一方で、要請に従わない事業者や店舗が依然として存在している。こうした一部の事業者を放置しておけば不公平感から、これ以上協力したくないと考える事業者も増えてくるのではないか。

要請に協力しない事業者に、より強い取り組みを行うべきだが如何か。

緊急事態措置、まん延防止等重点措置等による影響を受けた事業者の支給額

対象月の売上減少率	法人	個人事業主
30%以上50%未満	最大10万円	最大5万円
50%以上70%未満	最大15万円	最大7.5万円
70%以上	最大30万円	最大15万円

**答弁** スピード感を持って命令・公表のスキームに乗せられるよう努め、前回より多くの飲食店への命令・公表に結びつけることができたものと考えている。

### 病院事業会計について

**質問** 日ごろから救急患者の受け入れや新型コロナウイルス陽性患者の対応をしている病院事業管理者並びに職員の皆様に深く感謝申し上げます。市立病院において病床確保はどう対応してきたのか。

**答弁** 入院患者数の制限や予定手術の延期など、通常診療の規模を一部縮小することなどにより人員体制を整えてきた。

今後とも感染の動向を注視し、診療体制への影響も考慮しながら、病床確保に努め、安全・安心な医療を提供するという当院の使命を確実に果たしていきたい。

**質問** 医療機関への受診控え等により、多くの病院が影響を受け収益が悪化している。決算では市立病院の事業損益も前年度に比べ6億2000万円悪化し、今年度に入っても厳しい状況が続いている。今後の病院経営の見通しについて伺う。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない中、通常診療体制を継続し収益の安定的な確保を図るには大変厳しい。引き続き国の支援策を最大限活用しながら確保に向けた取り組みを進めるなど、経営計画に定める目標を着実に達成していくことにより、経営基盤の強化に職員一丸となって取り組んでいく。

### 新型コロナウイルスワクチンの接種について

**質問** 満12歳以上の接種券をお持ちの方全てが接種可能となった。今後、全世代にわたって接種が進むことを期待するが、現在の状況に関する認識を伺う。



**答弁** 今後若年層を中心に、さらなる接種の加速化が重要と考えており、今月から平日夜間帯の接種や、市中心部における新たな集団接種会場の追加など、働く世代や学生の方などが接種しやすい体制作りを進めている。

**質問** 国も希望する方への接種を11月末までに完了させるとしている。速やかな接種完了に向けた取り組みを期待するところだが、今後の見通しを伺う。

**答弁** 11月末までには希望される方が着実に接種を受けられる見通しを持っている。

### 中小企業チャレンジ補助金について

**質問** 既に事業提案の募集採択が行われ、採択予定件数を大幅に上回る応募があった。コロナ禍における経済環境の変化に対応し、生き残りをかけてチャレンジしようという気概を持つ事業者が、市内にも多数おられる事は大変心強い。本事業の意義、今後の進め方について伺う。

**答弁** チャレンジ補助金は感染症による社会の変化に適応するため、新たな商品やサービスの開発、新分野展開など、前向きに挑戦する市内事業者の支援を目的に実施している。年度内に数回に分けて事業の公募を行うとともに必要に応じて専門家の支援を取り入れながら、コロナ禍における事業者の前向きな挑戦を支えていきたい。

### イベント支援について

**質問** 大型観光イベントは、本市の交流人

口拡大に大きく貢献するもので、次年度の本格再開に向けてしっかりと支えていく必要がある。今後どう支援していく考えなのか伺う。

**答弁** 本格再開に向け、開催ノウハウの継承や、協賛金収入の減少といった課題も懸念されることから、引き続き主催者や関係者の皆様と意見交換を行いながら、必要な支援について検討していきたい。

### 医療機関の統合について

**質問** これまで、市内病院の移転を行わないよう、知事に対して情報提供を積極的に行い、市民や関係団体の意見を丁寧に聞きながら検討を進めるよう求めてきた。今回、突然県が方向性を示したことについて市長の受け止めをまず伺う。

また市民の命と健康守るためには、その協議に参加し、しっかり意見を述べていく必要がある。市長として今後どう対応していくつもりか。

**答弁** 県が4病院による新たな再編の枠組みを突然公表したことについて非常に驚いており、大変な遺憾なことで受け止めている。丁寧な情報の開示、意見交換を行っていくことを改めて強く求めていく。

**質問** 仮に市域外に両病院が移転することとなった場合、本市の救急搬送体制、並びに市内医療体制にどんな影響が及ぶと認識しているのか。

**答弁** 両病院は救急告示病院として本市の救急搬送の約1割にあたる年間4000名を超える患者を受け入れている。仮に市域外に移転した場合には、その大半を他の医療機関にお願いすることとなるため、本市の救急搬送体制全体に影響が生じるものと懸念している。今後仙台医療圏はもとより、本市の救急搬送体制に影響が生じないように最大限配慮される必要があると認識している。

### ガス事業民営化について

**質問** まさに驚きを持って今回の報告を聞いたわけだが、ここに至る経緯を伺う。また、今回の判断に至った理由は如何か。

**答弁** 応募者との相互理解が不足していたのではないかと、というご指摘については真摯に受け止め、選定の進め方を含め検証を行い、今後に生かしていきたい。

事業計画の面で、需要家数が急激に減少するなど、民営化のメリットを市民、ユーザに対して十分に打ち出せたとまでは言えないという答申があった。苦渋の選択ではあったが優先交渉者なしと決した。

## 声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。下記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

(受取人)  
泉区上谷刈3丁目7-29  
D棟103

仙台市議会議員(泉区)  
**野田 ゆずる** 行

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



料金受取人払郵便

泉 局  
承 認

36

差し出し有効期間  
2022年  
4月30日まで

切手不要

お名前	フリガナ	生年月日
ご住所	□□□□□□□□	
電話番号	( )	ご職業
ご意見	お住いの地域のお困り事、普段から疑問等に思うことなど何でもかまいません。仙台市政へのご要望などがありましたらお気軽にご記入お願いします。	
必要に応じて 宛先が 変わります	皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。	